

事務事業評価資料

施策名	鉄道の安全性確保・利便性向上		所管部局課名	県土整備部県土企画局交通政策課						
事業名	第三セクター鉄道安全性向上対策助成		担当者電話番号	計画担当 078-362-3884 (内4538)						
事業目的	第三セクター鉄道事業者の実施する安全性向上対策を支援し、鉄道の保安度の向上を図る。経営状況が厳しい事業者を支援し、鉄道利用者の安全輸送を確保する。									
事業内容	第三セクター鉄道事業者が行う安全性向上対策に要する経費の一部を支援 対象者：経常損失が生じており、国が採択する鉄道軌道輸送高度化事業を活用している第三セクター鉄道事業者 対象経費：列車運行上の安全性向上に寄与する設備更新・改良等経費補助限度額：10,000千円（H20まで11,000千円）			事業開始年度	平成15年度					
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額	平成21年度当初予算額	平成22年度当初予算額						
	事業費	(11,000 千円) 11,000 千円	(10,000 千円) 10,000 千円	(10,000 千円) 10,000 千円						
	人件費	1,694 千円	1,672 千円	1,641 千円	従事人員 0.2人					
	総コスト (+)	12,694 千円	11,672 千円	11,641 千円	従事人員 0.2人					
事業の目標	責任事故を発生させない安全運行の実施			[目標設定理由] 鉄道運行の安全性を確保するため、運転責任による事故を発生させないことが重要であるため。						
	安全性向上による利用者数の維持			[目標設定理由] 安全運行の結果として、利用者が安心して利用できる環境を提供できるため。						
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率 (%)			
		目標値	年度				H20	H21	H22	
	責任事故件数	0 件	-	0 件 (12,694 千円)	0 件 (11,672 千円)	0 件 (11,641 千円)	100.0%	100.0%	100.0%	
年間総輸送人員	2,047 千人/年	23年度	2,003千人 (6.3 円)	2,000千人 (5.8 円)	2,041千人 (5.7 円)	97.9%	97.7%	99.7%		
評価結果	必要性	・京阪神と京都府北部・但馬地域を結ぶ広域都市間交通路線として、また、通勤・通学等の沿線地域の日常生活を支える地域の足として、その運行の安全性を確保する必要がある。								
	有効性	・鉄道施設の老朽化が進行する中で、安全性向上のための設備改良等を支援することにより、鉄道事業者の責任による無事故運行を維持することができ、着実に成果があがっている。 ・安全運行の結果、年間総輸送人員を維持しており、着実に成果があがっている。								
	効率性	・年間総輸送人員を維持し、輸送人員1人あたりのコストも低下しており、効率的な事業執行が行われている。								
	民間・市町との役割分担	・沿線市等の支援にあわせ、第三セクター鉄道事業者が実施する安全性向上対策に対して助成している。 ・第三セクター鉄道事業者の経営環境は、不況、高速料金値下げ、新型インフルエンザ等により厳しさを増していることから、安全運行を維持するため、鉄道事業者に対して更なる経営改善に向けた見直しを要請している。								
	受益と負担の適正化									
方向性	新規	拡充		継続		実施手法の見直し				
	廃止	縮小		統合		凍結(休止)		延長		終期設定
実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他			
説明	H18年度からH20年度まで第三セクター鉄道事業者が実施する安全性向上対策に対して助成してきたが、H21年度から助成上限額を見直したうえで引き続き安全性向上対策に対し支援を行う。 第三セクター鉄道事業者の経営環境や沿線地域の交通状況の変化も助成する必要があることから、23年度までの3年間の事業として継続する。									